

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 広島リサイクルセンター 久井工場

(2) 事業所の所在地

〒722-1303 広島県三原市久井町下津1126-9

(3) 業種

プラスチック成形材料製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28(2016)年度を基準年度とし、平成29(2017)年度から平成31(2019)年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

我が社では、創業以来、廃プラスチックのマテリアルサイクルを積極的に展開し、循環型社会の構築に社員一同、日々努力していることを踏まえ、以下の方針で、環境マネジメントに取り組んでゆきます。

2 方針

- (1) 事業活動にかかわる環境影響を常に認識し、環境経営システムを構築して、継続的な環境負荷の削減を図る。
- (2) 環境に関する法規制(条例含む)及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
- (3) 活動として、次の事項を積極的に推進する。
 - ① 電力、LPガス、軽油、ガソリン等エネルギーの使用量を削減する。
 - ② 廃棄物の再資源化を向上させ、再商品化技術開発に努める。
 - ③ 水の使用量削減、水処理設備の管理強化により、水環境向上に努める。
 - ④ マテリアルサイクルに必要な人材の育成、技術の向上を図る。
 - ⑤ エコ・グリーン商品の購入に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成27年度
二酸化炭素	11,105	11,204

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成28年度	平成27年度
メタン	25	32
一酸化二窒素	8	10
その他 温室効果 ガス (HFC) (PFC) (SF6) (NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 処理量(千t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成28年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	11,105.0	25.26	439.63	3.0	10,699.0	25.09	426.42
非エネルギー起源CO2							
メタン	25.3	25.26	1.002	3.0	24.4	25.09	0.972
一酸化二窒素	8.3	25.26	0.33	3.0	8.0	25.09	0.32
その他 温室効果ガス							
総排出量	11,138.6	25.26	440.96	3.0	10,731.4	25.09	427.72
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	160.00	3.0	-	-	155.20
目標設定の考え方	エネルギー起源CO2及びメタン及び一酸化二窒素とも、原単位ベース年1%程度の削減率。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・LPG使用量を原単位で3%削減 ・軽油使用量を原単位で3%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラの燃焼管理の徹底 ・フォークリフト運転技術の向上
2	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量を原単位で3%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能インバータ機器の導入 ・高効率照明器具への更新 ・設備の運転方法見直し ・休憩時間の消灯の徹底 ・冷暖房温度の適正管理
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・メタン排出量を原単位で3%削減 ・一酸化二窒素排出量を原単位で3%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村への原料品質向上の働きかけ ・選別作業の精度の向上 ・廃棄物排出量の低減
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

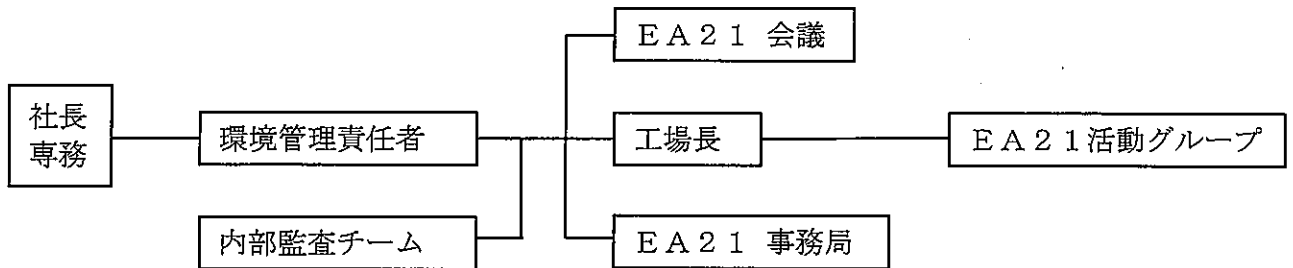
	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物発生率を50%以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・選別作業の精度の向上 ・新技術・設備での歩留り向上
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

エコアクション21 (EA21)環境経営システムの組織に準じる。



①活動組織

項目	就任者	主な職務・権限
経営層	社長、専務	対外的には社長、実務は専務が社長代行
環境管理責任者	工場長	EA21システム構築の運用統括責任者、運用状況を経営者に報告
工場長	工場長	工場の経営に関する事項の統括責任者
EA21事務局	チーフ：生産管理担当部長	管理責任者の指示で、構築、運用に関する事務

②EA21活動グループ

グループ名	グループ長
1. 業務グループ	業務主任
2. 運輸グループ	運輸副課長
3. 品質管理グループ	品質管理係長
4. 管理・保全グループ	生産管理担当部長
5. 製造グループ	保全課長

③EA21会議

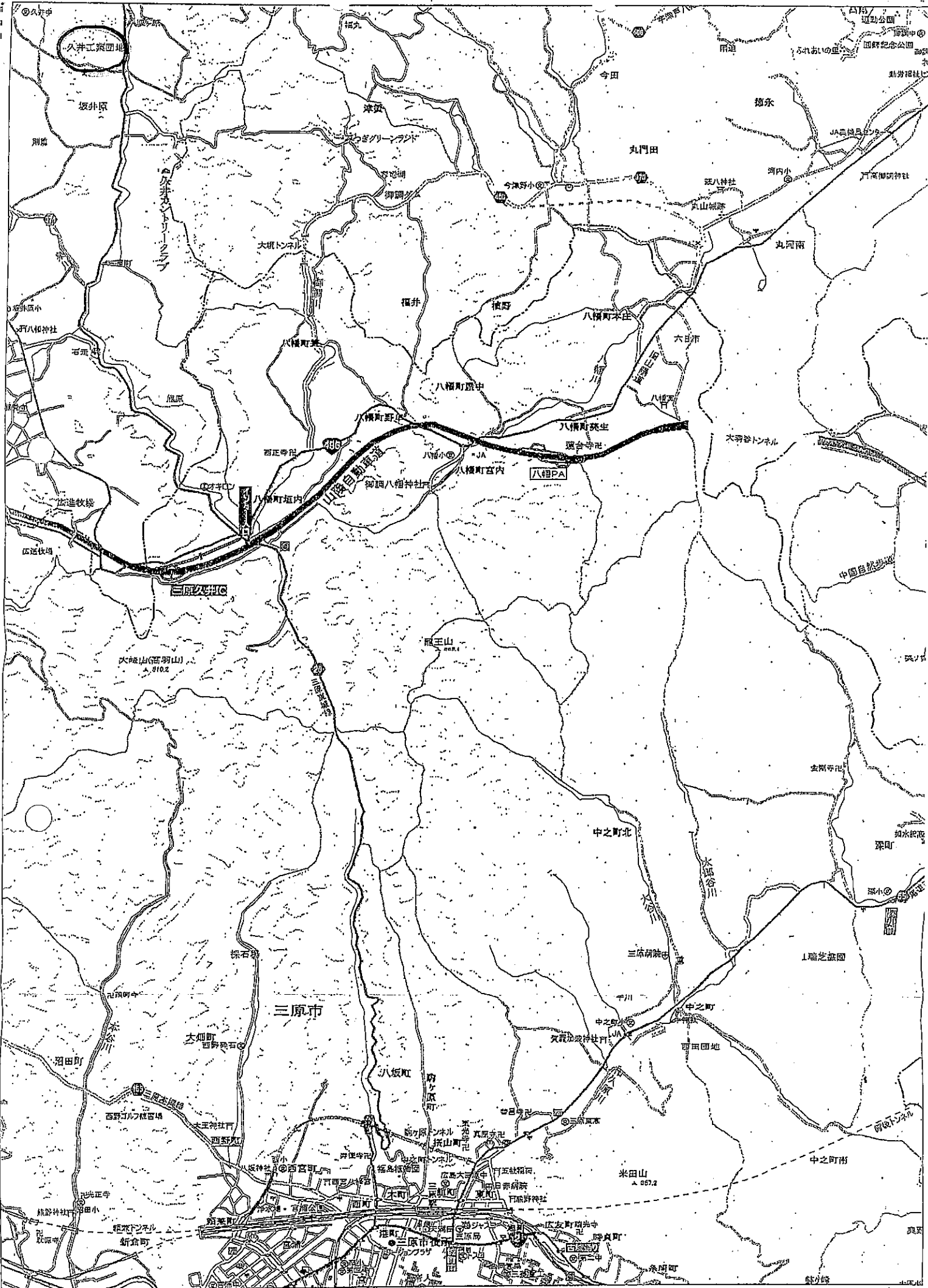
主催者	会議メンバー	開催頻度
環境管理責任者	活動グループ長	1回/3ヶ月

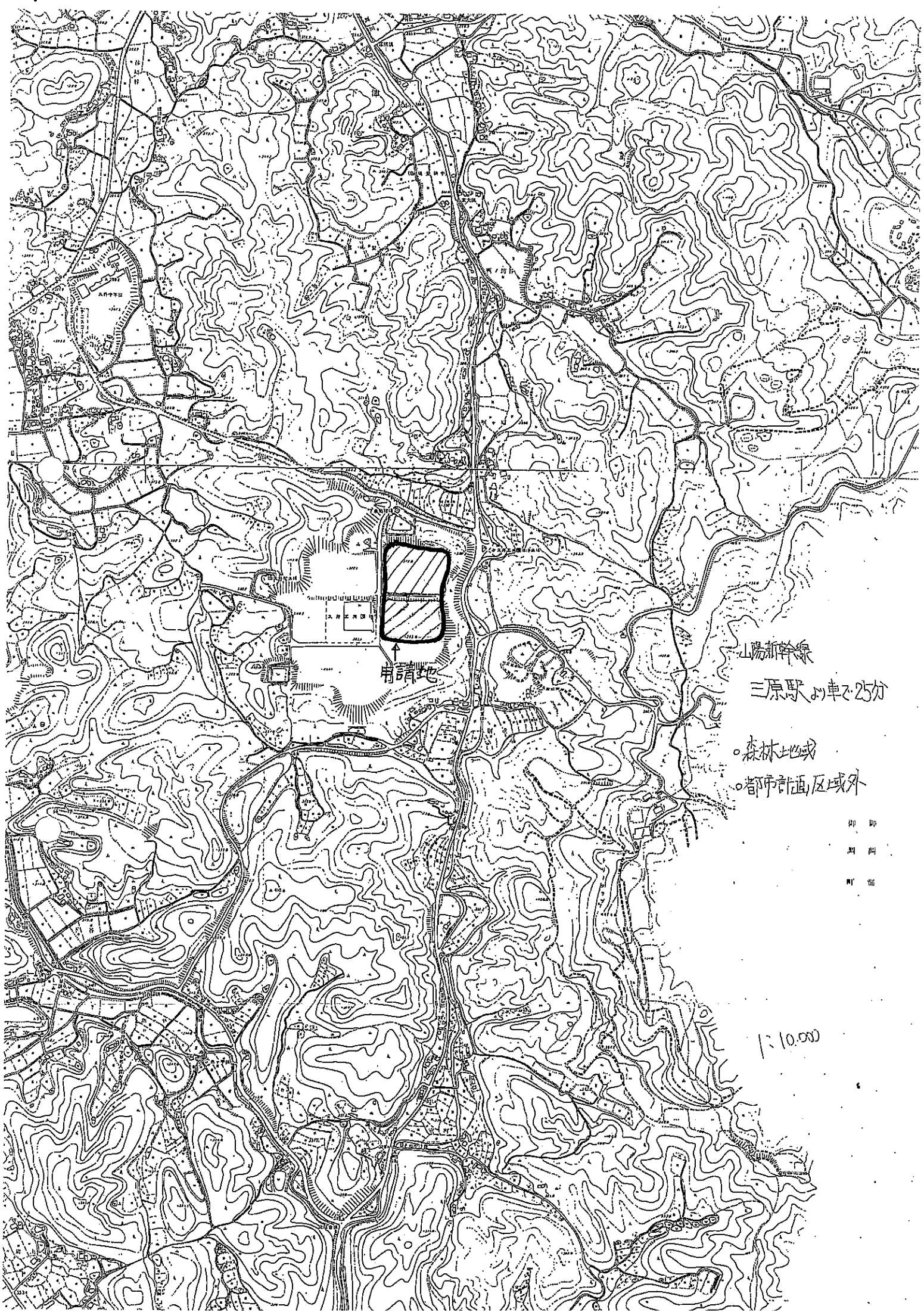
(2) 実施状況の点検・評価

EA21事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画書の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、EA21会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

・事業所に備え付けて閲覧する。





山陽新幹線
 三原駅より車で25分
 ○森林土地区
 ○都市計画区域外

即 即
 期 期
 町 區

1:10,000